

問1 日本国憲法第9条第1項において、国際平和を誠実に希求し、国際紛争を解決する手段として「永久に放棄する」と定められている内容として正しいものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 日本国民の生存権を保障するための最低限度の自衛措置
2. 領土問題の解決を目的とした国際司法裁判所への提訴
3. 災害派遣を目的とした組織の維持と、他国との軍事同盟
4. 国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使

問2 大日本帝国憲法の条文構成に基づき、当時の天皇の地位と権限について説明した文として、背景や制度の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)

1. 憲法第1条により主権は国民にあると定められていたため、天皇の外交権は象徴的な儀礼に限られていた。
2. 天皇は国の元首であり、統治権を総攬する立場として、陸海軍の統帥や条約の締結など広範な権限を持っていた。
3. 天皇は統治権を持つものの、憲法第22条によって臣民の居住や移転の自由が完全に保障されていたため、外交権は制限されていた。
4. 条約の締結には帝国議会の議決が必須であり、天皇は議会の決定を執行するのみの立場であった。

問3 「一票の格差」が日本国憲法に違反する可能性があるとして、最高裁判所で争われることがあります。この問題の本質的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)

1. 若者の投票率が他の世代と比べて著しく低いため、政治に反映される意見が世代間で不平等になってしまうため。
2. 選挙区ごとの有権者数の違いによって、国民が持つ一票の影響力に差が生じ、憲法が保障する法の下での平等に反するため。
3. 選挙区の面積が広すぎる地域では、候補者が十分に活動できず、有権者が情報を得る機会に格差が生まれるため。
4. 比例代表制において、政党の得票数と獲得議席数の割合が一致しないことがあり、民意が正しく反映されないため。

問4 日本国憲法第9条第1項において、日本国民が「正義と秩序を基調とする国際平和」を誠実に希求するにあたり、国際紛争を解決する手段として永久に放棄すると定めているものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 国際連合の要請に基づく平和維持活動への参加
2. 国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使
3. 自衛のために必要な最小限度の実力の保持と行使
4. 他国との領土問題における外交交渉や経済制裁

問5 日本国憲法が定める国民の義務に関する説明として、制度の仕組みや背景を踏まえた記述として正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. 子ども自身が学校で勉強することは、憲法によって国民に課された直接の義務である。
2. 日本国憲法には、国民の三大義務のほかに、国が戦争を始めた際に兵士として戦う義務が明記されている。
3. 勤労は、憲法において国民の権利として保障されている一方で、義務としても規定されている。
4. すべての国民には、国の最高法規である憲法を尊重し、擁護する義務が直接課されている。

問6 日本の平和主義に関わる歴史的な出来事において、1967年に当時の佐藤栄作首相が表明し、その後の国会決議によって日本の国是（国の方針）として確立された「非核三原則」の具体的な内容として正しいものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 核兵器を「使わず、作らず、持ち込ませず」という原則
2. 核兵器を「持たず、作らず、実験せず」という原則
3. 核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」という原則
4. 核兵器を「持たず、増やさず、輸出せず」という原則

問7 日本国憲法の改正手続きにおいて、国会が国民に対して改正案を提示する「発議」を行うために必要な条件と、その後の国民投票で承認されるために必要な条件の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 各議院の出席議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民投票において有効投票の過半数の賛成を得る
2. 各議院の総議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民投票において有権者総数の過半数の賛成を得る
3. 各議院の総議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民投票において有効投票の過半数の賛成を得る
4. 各議院の総議員の過半数の賛成で発議し、国民投票において有効投票の3分の2以上の賛成を得る

問8 日本国憲法の改正手続きにおいて、国会が国民に対して改正案を提示（発議）するために満たさなければならない条件として、正しいものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)

1. 衆議院と参議院のそれぞれで、総議員の過半数の賛成を得る
2. 衆議院と参議院のそれぞれで、出席議員の3分の2以上の賛成を得る
3. 衆議院と参議院のいずれか一方で、総議員の3分の2以上の賛成を得る
4. 衆議院と参議院のそれぞれで、総議員の3分の2以上の賛成を得る

問9 国家の領域は、領土、領海、領空の3つから構成されます。このうち、領海と領空の範囲について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 領海は沿岸から200海里までの範囲であり、領空は領土の上空のみに限定される。
2. 領海は沿岸から200海里までの範囲であり、領空は領土と領海の上空の範囲を指す。
3. 領海は沿岸から12海里までの範囲であり、領空は領土の上空のみに限定される。
4. 領海は沿岸から12海里までの範囲であり、領空は領土と領海の上空の範囲を指す。

問10 「人の支配」と「法の支配」の仕組みを対比させた場合、「法の支配」の内容を説明したものとして最も適切な記述はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 社会の秩序を保つために、指導者がすべての権限を持って判断する仕組み
2. 権力者が法律を道具として使い、国民を一方向的に統制する仕組み
3. 政府による権力行使が法によって制限され、個人の自由が守られる仕組み
4. 法律よりも権力者の命令が優先され、迅速に政治判断が行われる仕組み

問11 日本国憲法における国民主権の考え方と、象徴天皇制の関係について説明した文として適切なものはどれか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 主権者である国民は、天皇の行う「国事行為」に対して、個別に拒否権を行使することで主権を担保している。
2. 天皇は日本国の象徴であり日本国民統合の象徴とされるが、政治に関する権能は持たず、その地位は主権の存する国民の総意に基づくとされている。
3. 国民主権の原理により、天皇はすべての公的な儀式への参列を禁じられ、政治的な発言のみを認められている。
4. 天皇は国の元首として主権を持ち、国民主権は天皇が国民に与えた権利の一つとして位置づけられている。

問12 日本の領域に関する記述として、沿岸からの距離と水域の名称の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)

1. 沿岸から12海里までを領海、200海里までを排他的経済水域とする
2. 沿岸から200海里までを排他的経済水域とし、その外側を領海とする
3. 沿岸から12海里までを接続水域、200海里までを領海とする
4. 沿岸から200海里までを領海、12海里までを排他的経済水域とする